

議 案(2)

平成 21 年度事業計画書

社団法人 日本小児科学会

1. 学術集会等

- ①第 112 回学術集会を平成 21 年 4 月 17 日から 19 日まで奈良市（奈良県文化会館ほか）において、奈良県立医科大学学長 吉岡 章会頭主宰により開催する。
- ②第 39 回日本小児科学会セミナーを平成 21 年 9 月 27 日に旭川市（旭川グランドホテル）で開催する。

2. 総 会

平成 21 年 4 月 18 日に通常総会を奈良市において開催し、平成 20 年度事業報告及び収支計算書等、平成 21 年度事業計画及び予算書案ほかの議案について審議する。

3. 理事会

理事会を年 11 回、開催する。2 ヶ月ごとにメディアへ通知し、記者会見を催す。

4. 委員会

委員会・プロジェクト・チームは会議を年 1 回以上開催し、関連する調査、研究などを行う。活動の内容は、順次「マニフェスト」に沿って取り上げていく。

1) 財務委員会

・学会予算案の検討、作成を行い、学会財政状況の検討を行う。公益法人への移行を念頭に、各種委員会の健全な予算提出を促す。

2) 定款等諸規則改訂検討委員会

・公益法人への移行を念頭に、定款の改訂、各種委員会やプロジェクト・チームの規約改正に向けて検討を行う。

3) 中央資格認定委員会・試験運営委員会・専門医制度充実プロジェクト

- ・社会からの評価に耐えうる小児科専門医制度に合致した研修施設、研修支援施設認定、更新審査を行う。
- ・充実した専門医であり続けるための教育システムの維持。
- ・小児科専門医試験（筆記・面接）を平成 21 年 9 月 5 日、6 日に東京都と関西地区において実施する。
- ・小児科専門医の更新申請、並びに研修施設の申請及び更新申請を 3 月及び 9 月に受け付け、審査のうえ、認定する。
- ・学会員および小児科専門医に対して専門医オンラインセミナーなど自学自習の機会を提供する。

4) 教育委員会

- ・専門医更新のための単位取得ができるよう応募問題として、小児科診療に関する問題をホームページ上で出題する。
- ・卒後臨床研修の実態調査、到達目標の改定を行う。

5) 編集委員会

- ・和文誌編集委員会：「日本小児科学会雑誌」を年 12 回刊行する。
- ・欧文誌編集委員会：「Pediatrics International」を年 6 回刊行する。

6) 医療安全委員会

・医薬品・医療機器などの情報提供を行う。

7) 社会保険委員会

- ・平成 22 年度診療報酬改定に向けた小児科関係の要望書を作成する。
- ・平成 20 年診療報酬改定による病院小児科の収支状況調査を行う。
- ・DPC 採用病院における小児医療費の分析調査を行う。

- ・病院小児科の小児科医療費計算（特にドクターフィー）の算出調査を行う。
- 8) 薬事委員会
 - ・小児領域における適応外使用解決と治験推進のためのアクションプランを達成する。
 - ・供給停止の候補薬への対応を行う。
 - ・学会ホームページでの「適応外使用医薬品報告」への対応を行う。
- 9) 倫理委員会
 - ・小児終末期医療の検討を行い、ガイドラインを作成する。
 - ・小児脳死臓器移植プロジェクト・チームと連携し、検討を行う。
- 10) 用語委員会
 - ・日本小児科学会用語集の改訂を行う。
- 11) 広報委員会
 - ・こどもの健康週間を開催する。
 - ・学会ホームページの充実・リニューアルを図る。
 - ・記者会見のフォローを行う。
- 12) 学術委員会
 - ・日本小児科学会表彰制度に関する検討と調査を行う。
- 13) 予防接種・感染対策委員会
 - ・ワクチンにより予防できる病気の撲滅を目指す。そのため長期的視野に立った一貫した予防接種計画を学会として提言する。これを学会員に周知する。
 - ・国立感染研、他学会等との調整を行い、予防接種推奨案を合同で作成する。
 - ・予防接種の意義を広く国民に啓発する。市民公開ワクチン・フォーラムを開催する。
 - ・日本版 ACIP の樹立に向けた検討を行う。
- 14) 国際渉外委員会
 - ・PAS との連携強化、ASPR の発展支援、2011 年の PAS-ASPR Joint Meeting への準備を行う。
- 15) 栄養委員会
 - ・子どもの食育を考えるフォーラムを開催する。
 - ・日本人の食事摂取基準 2010 年版策定検討に参画する。
 - ・新生児委員会合同による母乳推進を検討する。
- 16) 学校保健・心の問題検討委員会
 - ・「21 世紀の間診票」の普及を進める。
 - ・こどもの心の診療フォーラムを開催する。
 - ・いじめに対する対応を検討する。
 - ・特別支援教育と発達障害児に関する調査を行う。
- 17) 新生児委員会
 - ・正常新生児ケアガイドラインの検討を行う。
 - ・バースコホートスタディに関する検討を行う。
 - ・栄養委員会合同による母乳推進を検討する。
- 18) こどもの生活環境改善委員会
 - ・小児病棟で働く職種のあり方に関する検討を行う。
 - ・「傷害注意速報」の周知を行う。
- 19) 将来計画委員会
 - ・学術集会・セミナーのあり方、方向性を検討する。
- 20) 小児救急委員会
 - ・地域小児科センターを中心とした圏域内連携構築のための行動計画の設定を行う。
 - ・小児救急救命（3次医療）・PICU 構築推進への提言作成を行う。
 - ・国民の小児救急医療に対する啓発を行う。

- 21) 小児科医の QOL を改善するプロジェクト・チーム
 - ・小児科医の労働条件改善のための調査・研究を行う。
 - 22) 女性医師の領域での環境改善プロジェクト
 - ・女性医師の職域における環境改善（多様な勤務体制）の実現化と普及。
 - ・保育支援の徹底
 - ・女性医師の離職防止，医師としての障害活動の意思強化と再研修援助。
 - 23) 子どもの虐待問題プロジェクト・チーム
 - ・わが国の小児科領域での子どもの虐待問題の啓発活動と社会に向けての提言・働きかけを行う
 - ・子どもの虐待に関する小児科医の知識と診療技術の向上のため検討を行う。
 - 24) 次世代育成プロジェクト・チーム
 - ・第4回思春期医学講習会の開催
 - ・保育施設における危機管理に関するテーマにつき提言を行う。
 - 25) 小児医療政策室
 - ・わが国の小児医療の改革ビジョン推進のため具体的活動を行う。
 - 26) 小児医療提供システム検討委員会
 - ・地域小児科センター及び中核病院構想の具体的推進
 - 27) 重症心身障害児プロジェクト・チーム
 - ・重症心身障害児，特に超重症心身障害児の現状把握と問題解決の検討，日常的な管理体制・緊急時の入院対処システムの構築を検討する。
 - 28) 小児脳死臓器移植プロジェクト・チーム
 - ・小児脳死臓器移植に関する検討を行う。
 - 29) 法人制度改革プロジェクト
 - ・法人制度改革に伴い新制度への移行に向けた検討を行う。
5. 日本小児科学会主催フォーラム・講習会等
 - ・市民公開ワクチン・フォーラム
 - ・倫理委員会公開フォーラム
 - ・思春期医学臨床講習会
 - ・子どもの食育を考えるフォーラム
 - ・小児救急公開フォーラム
 - ・こどもの心の診療に関するフォーラム
 - ・こどもの健康週間関連行事
 6. 小児医学・医療の課題を明らかにし，その改善を図るため以下の施策を策定する。施策を実現するため関係機関に対して要望を行い，またそれらと協議を行う。
 - ①子どもの発育・発達支援に向けた成育医療の推進
 - ②小児医療システムの改善と充実
 - ・小児救急医療体制と小児科専門医の教育・研修
 - ・高度専門医療の充実
 - ・小児科 subspecialty 専門研修制度の樹立
 - ③障害児の医療・福祉の充実
 - ・介護・療育を必要とする子どもの医療・介護・福祉システムの樹立
 7. 小児科学の向上を図るため，国内，及び諸外国との連携，交流を行う。
 8. 「日本小児科学会地域小児科センター」創設のため作業を進める。

9. 会員情報精査のための作業を行うとともに、会員情報システムの構築・充実をはかる。
10. 法人制度改革に伴い新制度への移行に向けた検討を行う。
11. 日本小児科学会分科会（23分科会）及び日本小児科学会地区代議員会（7地区）の活動を補助する。
12. 各地方会、及び地区小児科学会は、それぞれ独自の事業を行う。